

第2回 新三国トンネル環境検討委員会 議事概要

日 時：平成26年8月1日（金）14時～15時40分

場 所：（一財）先端建設技術センター 会議室

出席者： 大島委員長 （首都大学東京客員教授）
真下委員 （国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長）
阿南委員 （（独）土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員）
太田委員 （（公財）鉄道総合技術研究所 防災技術研究部長）
吉川委員 （群馬大学名誉教授）
久保田委員 （新潟大学准教授）
石田委員 （みなかみ町 地域整備課長）
角谷委員 （湯沢町 地域整備課長）
水川代理 （国土交通省関東地方整備局 道路工事課 課長補佐）
信太委員 （国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所長）

議事概要

- (1) 第2回環境検討委員会の検討項目
 - 第2回環境検討委員会の検討項目について、了承した。
- (2) 第1回環境検討委員会の概要
 - 第1回環境検討委員会での概要について、了承した。
- (3) 第1回環境検討委員会の意見に対する検討結果
 - ① ズリ活用地の計画容量12万m³について
 - 審議結果
 - ズリ活用地の包容量は12万m³とする。
 - 確認事項
 - 暴露試験の詳細については第3回委員会で報告する。
 - ② 自己修復機能を持たせた遮水シートについて
 - 審議結果
 - 自己修復機能を持たせた遮水シートは採用しない。
 - ③ FEM沈下予測解析の変形係数について
 - 確認事項
 - 当該地盤の変形係数を孔内水平載荷試験により確認する。

④ 地盤改良の六価クロム溶出について

■審議結果

○所定の手続きを取り、六価クロムの溶出量が環境基準値を下回るようにする。

(4) トンネル掘削ズリ処理対策

① モニタリング計画（案）

■審議結果

○モニタリングの位置について原案どおりとする。

■確認事項

○地下水集排水施設の計画について第3回委員会で説明する。

(5) トンネル施工中・完成後の排出水の対策

① トンネル施工中・完成後の排出水対策

■審議結果

○トンネル排出水のモニタリング計画について原案どおりとする。

■確認事項

○重金属の処理について、擬集沈殿法の砂ろ過装置の追加について確認すること。

② トンネル完成後の排出水対策について

■審議結果

○モニタリングの頻度について、水質・流量が定常化した後は、4回/年の定期観測を少なくとも2年間確認する。

(6) その他

■次回委員会の開催日は、平成26年9月5日（金）とする。